部活動運営方針

1. 目標

- (1) 集団を高めるために、生徒一人ひとりの自主性と生徒相互の連帯感を育てるとともに、規律正しい生活態度を身に付けさせる。
- (2) 日々の練習やミーティングなどの取り組みを大切にしながら、部活動の正常な発展を図り、気力・体力とも にたくましい集団を育てる。

2. 本年度の努力点

- (1) 「ON 部」デーを充実させることにより部活動の活性化に努め、地区大会で上位入賞を目指す。部活に直接指導できない時は、始礼やキャプテンに指導を行う。
- (2) キャプテン会及び部活動生集会等を通じて、部相互の交流や部活動の意義を再確認させる。
- (3) 問題行動等が起こった場合は、部活動顧問者会を招集するなどして迅速に対応をする。

3. 具体的な取り組み

- (I) 毎週『ON部デー』を設定し、全部・全職員での一斉始動を行う。
- (2) 全校生徒の 7 割以上が部活動に参加するよう、部活動通信やポスター作成等を行い、部員の維持・増加 に努める。
- (3) 定例の生活点検後、顧問社会を行う。必要に応じてキャプテン会を開催し、部活動の活性化を促す。
- (4) 大会前に激励集会(決意表明の放送)を行う。
- (5) 部活動保護者会を実施し、部活動への理解と協力を求めるとともに、部活動生のマナー向上のための啓発を行う。

4. 確認事項

部室について

- 部室の使用は部活動を実施している時間のみとし、休み時間などは使用できない。忘れ物をしない。
- 練習中は必ず施錠し、部員以外の生徒は入室させない。
- 定期的に部室の清掃を行い、ゴミは各自で持ち帰らせる。

活動について

- 帰りの HR 終了後、直ちに練習に参加させる。
- 「○○部の○○です。部室の鍵を取りに来ました。」と名乗ったら、できる限り教師が手渡す。生徒を職員室の中に入れない。
- 活動開始時は、できるだけ顧問がつく。活動につけない場合は、必ず事前に指示を出して行わせる。
- 出席確認、健康観察を行い、必要に応じて担任、養護教諭と連絡を取り合う。
- 活動後は、必ず終礼を行い、速やかに下校させる。顧問ができない場合は、他の教師に行ってもらう。
- 毎週水曜日を「ON 部デー」とし、全部活・全職員で一斉に活動を始める。 (学級や係での居残り、学年会議等は原則としてなしとする)
- 毎週木曜日を「NO 部デー」とする。
 - ただし、大会 | 週間前は、顧問の裁量で通常通り実施することができる。
- 土、日曜、祝日など、部活の活動予定表を職員室前の廊下に掲示する。
- 休日の練習は、顧問が来てから実施させる。(部室の鍵も顧問が来てから借りるようにする。)
- 原則として、土、日曜のどちらかを休みにする。ただし、大会や練習試合、天候等の都合で、土、日曜に活動を行った場合は週に2回(NO部活デーを含む)の休みを取る。
- 考査前の部活動は、原則中間考査・・・試験日の5日前、期末考査・・・試験日の7日前から活動中止とする。 ただし、考査前活動中止期間や考査中に大会が行われる場合は、放課後のみ練習を行うことができる。生 徒に負担がかからないように配慮して行う。(実施する場合には、職員に連絡、了承を得る。)

- 朝練習については、次の事項を厳守して実施する。
- ア) 必ず顧問が指導につく。
- イ)練習開始は7時30分以降とし、8時10分までに練習をやめ、8時25分までに教室に入るようにする。
- ウ)必ず朝食をとって練習に参加させる。
- ※駅伝の活動については、朝ご飯(おにぎり)の持参を許可する。食べる場所は教員が指定する。

登下校時の服装について

- 制服、体操服・ジャージ、白のワンポイントTシャツ、部でそろえた練習着等での登下校を認める。
- 自転車通学生には、必ずヘルメットを着用させる。(あご紐も確実にかけさせる。)

昼食について

- 土、日曜、祝日の昼食は各自持参させる。ただし、家庭の事情で準備できない場合は、コンビニなどで購入 させてから登校させる。
- 常時スポーツドリンクの飲用を認める。

5. 練習時間(終礼時間の厳守)

- 4月~10月…HR 終了後~18時 50分終礼完了(バス 19時 00分) 19:00 完全下校 ※ただし、10月よりバスは冬季運行となる
- | 1 | 月~3 月···HR終了後~ | 8 時20 分終礼完了(バス | 8 時30分) | 18:30 完全下校

6. その他

- 運営上、大きな支障が生じたり問題行動が起こったりした場合は、部活動の禁止、対外試合(コンクール) 出場禁止などの処置について顧問者会協議し、職員会議で確認する。
- 中体連遵守事項を校内で確認し、部活動運営を進めていく。
- 4月のPTA 総会後に部活動保護者会を開催する。 (開催できない部活については、できるだけ早い時期に開催する。)
- 部員名簿、各部内の連絡網を作成する。